

令和5年度 脇町小学校学校評価に関する学校関係者評価委員*からのご意見

※ご意見は多岐にわたるため、類似の意見を集約または要約して掲載しています。

1. 児童アンケートの結果について

- ・アンケートからは、児童の良好な学校生活の様子が感じられる。
- ・保護者が感じている以上に、子どもたちは学校生活が楽しめているようで安心した。
- ・児童アンケートの「学校が楽しい」「友だちとなかよくできている」等のアンケート項目においては、肯定的意見が100%であってほしい。
- ・全体的に昨年度と比べてよい傾向だと思われるが、昨年より肯定的な意見が下がった項目（項目7「授業中に発表ができています」等）については授業改善をはじめとして、児童が自分で考えるような教育活動を進めてほしい。
- ・児童があいさつを日常的に実践できている様子がアンケート結果からよく分かると思う。保護者も地域もあいさつが習慣化されていると感じる。
- ・児童の「そう面わない」を「そう思う」に近づけるためには、学校だけでなく保護者の協力も不可欠だと思う。

2. 保護者アンケートの結果について

- ・学習発表会については、発表内容によって教室で行えばよいものと、体育館で行えばよいものがあると思う。
- ・ヘルメットの着用などの安全面での指導については、家庭がルール作りをすることが大切だと思う。それと合わせて、学校でも継続して指導を図っていく必要がある。
- ・「判断がつかない」との回答が多い項目についての改善を図るためには、学校からの情報発信が欠かせないと感じる。
- ・「そう思わない」との回答では、その理由を把握できるようにしてはどうか。
- ・外部講師を招いたり、保護者参加型の授業を実施したりするなど、子どもたちの自己肯定感を育てる教育活動を推進していくことが大切だと思う。
- ・タブレットについては、時間割の確認や更新だけでなく、宿題の配布や回収などの学習活動に活用すべきだと感じる。
- ・「書く」習慣付けのためには、タブレットだけでなく、これまで行ってきたプリント学習等も平行して行うとよい。タブレットのメリットとデメリットを精査する必要がある。
- ・保護者アンケートの回答数については、上げるための工夫が必要。締め切り前にさくら連絡網で再度呼びかけるなど、来年に向けて検討しておくとうよい。

*学校関係者評価委員はPTA本部役員、学級評議員、学校運営協議会委員から構成されています。

*いただいたご意見は今後十分に協議し、次年度からの教育活動へ活かしていきたいと考えています。貴重なご意見を多数いただきありがとうございました。